

2018年11月9日

各 位

会社名 株式会社 精工技研
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利
 (コード番号 6834)
 問合せ先 執行役員管理部長 斎藤祐司
 (TEL. 047 - 388 - 6401)

平成31年3月期第2四半期連結業績予想との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期 第2四半期連結累計期間 業績予想と実績値との差異
 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	550	580	400	43.27
実績値(B)	7,433	796	874	571	61.81
増減額(B)-(A)	433	246	294	171	—
増減率(%)	6.2	44.8	50.8	42.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	6,721	450	484	540	58.52

2. 平成31年3月期 通期連結業績予想数値の修正
 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	1,150	1,200	830	89.79
今回修正予想(B)	14,850	1,350	1,450	1,000	108.18
増減額(B)-(A)	350	200	250	170	—
増減率(%)	2.4	17.4	20.8	20.5	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	13,547	930	1,053	914	98.95

3. 差異及び修正の理由

平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間における売上高は、スマートフォンに搭載されるプレス成形品の販売が好調に推移しました。採算性の良いプレス成形品の販売が伸びたことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回発表予想を上回ることとなりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期は DATA PIXEL SAS 社の子会社化に伴う株式の段階取得に係る差益等 255 百万円を特別利益に計上していたため、当第 2 四半期連結累計期間は前年同四半期と比較して減益になると見込んでおりましたが、一転して増益となりました。

これに伴い、平成 31 年 3 月期通期連結業績予想につきましても、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回発表予想を上回ると判断し、修正することといたします。

なお為替につきましては、対米ドル 110 円、対ユーロ 130 円、対中国元 16.5 円と、期初の想定レートを変更しておりません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上